

I ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：Inspiration株式会社の商品について教えてください。



A：

輸入車メーカー、輸入車正規販売会社を中心に全国約1,000拠点（全輸入車拠点の約7割）で導入いただいております「オンラインセールスシステム」という商品がございます。自動車ディーラー販売現場のDX化により、営業活動の量と質のアップを可能にするソリューションです。

<主な機能>

●提案書作成システム

テンプレートの利用により提案書各種（新規客フォロー、車検対象者フォロー、入庫待ち時の代替提案など）を30秒で作成できます。

●はがき作成システム

豊富なテンプレート（来店御礼、成約御礼、納車御礼、紹介依頼、12ヵ月点検案内、車検案内、入庫案内、暑中見舞い、年賀状、担当交代挨拶など）によりお客様へのタイムリーな情報伝達はがきを30秒で作成できます。

●オンラインスライドショー

お客様のニーズに合った画像を活用して、自分の声でメッセージを伝えるスライドショーを1分で作成できます。お客様に見ていただきたいWebページのURLを埋め込むことも可能です。

●eDMシステム

様々な集客イベントなどのeDMの一斉送信ができます。一度に大量のお客様への訴求、開封確認、タイマー送信、WebページのURL／オンラインスライドショーを埋め込むことも可能です。



I 株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063
(お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法 電子公告により当社ホームページ
(<https://www.slc.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

I 企業データ

Corporate Data

商号 システム・ロケーション株式会社
英文社名 System Location Co.,Ltd.
本店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <https://www.slc.jp/>
創業 1992年7月1日
上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
名古屋証券取引所 メイン市場(証券コード 2480)
資本金 100,000,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株主数 1,322名(2026年3月31日現在)
事業内容 自動車関連事業者向け業務支援
グループ従業員数 59名(2026年3月31日現在)

役員(2026年6月24日現在)

代表取締役社長	千村 岳彦	取締役 監査等委員(社外)	内田 善昭
常務取締役	内村 裕一	取締役 監査等委員(社外)	山中 雅雄
取締役	後藤 清文	取締役 監査等委員(社外)	森 吉平
取締役	井坂 俊達		
取締役	林 雅大		
取締役(社外)	吉村 桂		

株主通信 第58期 報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度（2025年4月1日～2026年3月31日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業は、新車乗用車販売台数（登録車＋軽自動車）が前期比2.2%減となり、4年ぶりに前年実績を下回り、停滞感が強い市場となりました。特に、登録車は7月以降9カ月連続で前年割れが継続しており前期比4.9%減、軽自動車は4～6月に一昨年の出荷停止の反動増があったことから年間を通してみると3.4%増となっておりますが、7月以降はほぼ前年横這いの水準で推移しております。要因としては、物価高に加え新車販売価格の上昇による消費者の購買意欲の低下、また、メーカー毎の個別要因として、人気車種の受注枠による制約やモデルサイクルの長期化による人気車種の不足等があり、さらに外部要因として、年明けには、「自動車環境性能割」廃止による買い控えも起きた可能性があります。

中古車市場では、中古車乗用車登録台数（登録車＋軽自動車）は前期比0.4%増となりました。登録車は新車市場伸び悩みの影響、輸出に流れた車両が多かった等の影響等により前年を下回りましたが、流通量が回復した軽自動車の伸びで前年を上回りました。新車価格上昇により割安な中古車を選ぶユーザーは今後も増える見通しです。

このような市場動向の下、前期に引き続き、自動車販売事業者、自動車関連金融事業者などの取引先を中心に、商品・ソリューションの提供に積極的に取り組みました。主力商品であるCA Doctorにつきましては、提案書の幅と質の向上、業務支援システムとの連携、新人営業スタッフの育成支援、ブランディング向上への貢献など複数の改善要素の積み上げで商品力を強化した結果、お客様の好反応を得ることが出来、回復の兆しが現れて来ております。リース関連事業者、中古車事業者等からの弊社商品・ソリューションに対するニーズは引き続き根強いものがあり売り上げは増加基調で推移しておりますが、AI活用による商品機能の向上、中古車事業の効率的な運用・強化に貢献する新商品等で、お取引先とのさらなる関係の深化、新規取引先の拡大を企図しております。

こうした取組の結果、当期における当社グループの売上高は、1,733,471千円（前期比4.0%増）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上増に加え、売上原価の低減（前期比8.4%減）効果もあり、604,256千円（前期比12.7%増）となりました。売上原価は、前年度に発生した一時的な償却負担の解消及びシステム開発・運用の内製化や事業方針変更等により低減したものです。経常利益は639,913千円（前期比8.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券評価損等により297,027千円（前期比10.2%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村 岳彦

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増 減
流動資産	2,416	2,736	319
固定資産	1,965	2,163	197
流動負債	163	272	109
固定負債	518	583	64
純資産	3,701	4,044	343
総資産	4,382	4,900	517

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2025年3月期	構成比	2026年3月期	構成比
売上高	1,666	100.0%	1,733	100.0%
売上総利益	1,284	77.1%	1,383	79.8%
営業利益	536	32.2%	604	34.9%
経常利益	589	35.3%	639	36.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	330	19.8%	297	17.1%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

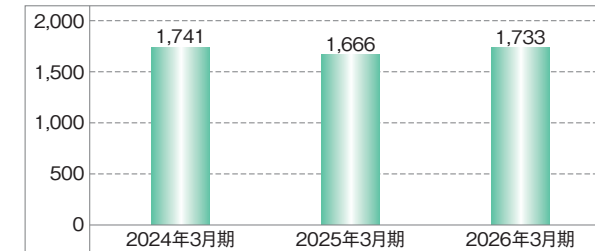
	2025年3月期	2026年3月期	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,976	2,203	226
営業活動キャッシュ・フロー	495	659	164
投資活動キャッシュ・フロー	△135	△1,844	△1,708
財務活動キャッシュ・フロー	△133	△133	0
現金及び現金同等物の期末残高	2,203	889	△1,314

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

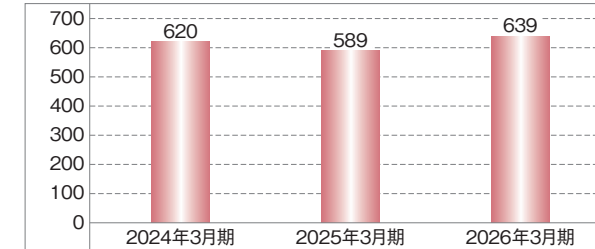
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）

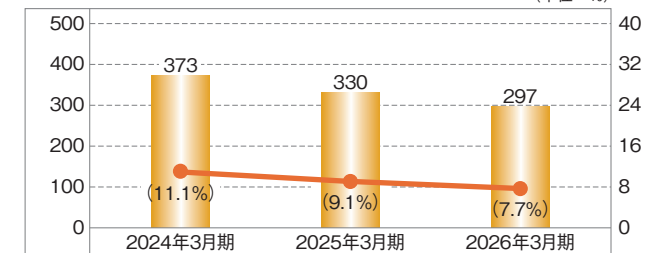


親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）

株主資本利益率(ROE)

（単位：％）



総資産／純資産

（単位：百万円）

